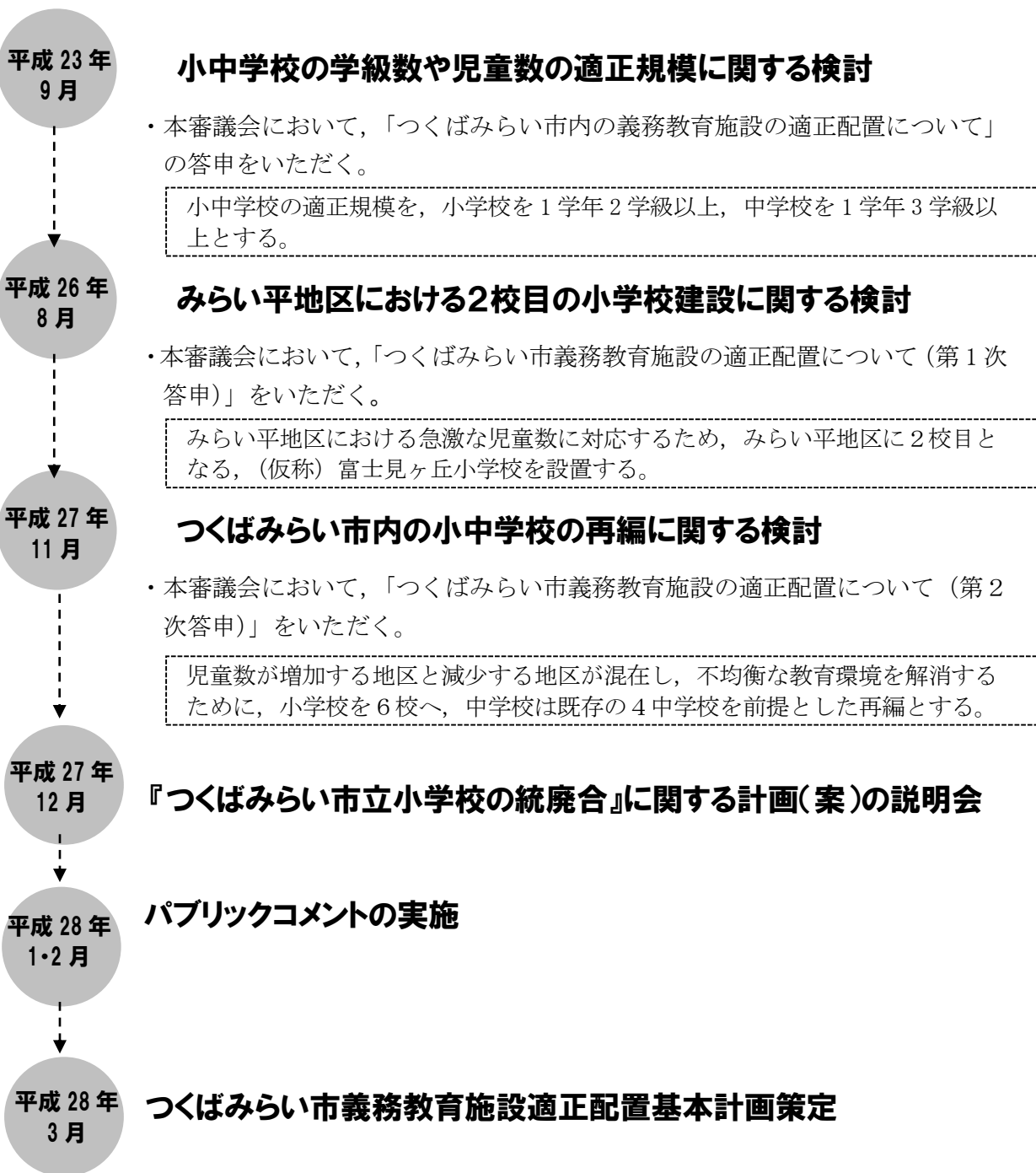


つくばみらい市立小張小学校区における意見交換会
(これまでの経緯について)

平成28年12月18日

1 これまでの経緯について

つくばみらい市の義務教育施設に関する検討のため、平成21年に「つくばみらい市義務教育施設適正配置審議会」が立ち上げられました。同審議会におけるこれまでの検討経緯については、下記のとおりとなっています。



2 『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画（案）の説明会

義務教育施設適正配置計画に関して、市民の皆さんからのご意見を直に伺う機会となる「『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会」の開催を行いました。

- ・日時：平成27年12月3日、7日、8日、13日、14日、15日、17日、20日
- ・場所：伊奈公民館(3日～8日、20日)・谷和原公民館(13日～17日)
- ・参加者数：482人(延べ人数)

□寄せられた主な意見（抜粋）

谷井田小学校区 参加者数 27 人（平成 27 年 12 月 3 日(木)午後7時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none">・平成 21 年から学校適正配置の取組を行なっていることについて、時間がかかりすぎている。・今回の計画案の策定期間が短すぎることや住民説明会を先に行うべきではないかと思う。・統廃合における合意形成をスピーディーに進めるべきだと思う。
小張小学校区 参加者数 62 人（平成 27 年 12 月 4 日(金)午後7時～ 場所:伊奈公民館)
(※4 ページ以降に質問・意見を掲載)
板橋小学校区 参加者数 24 人（平成 27 年 12 月 7 日(月)午後7時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none">・今後の進め方についてももう少し踏み込んで示してほしい。統合検討委員会の設置の時期やそれらの会議の検討期間、目標年次までに統合できなかった場合の対応などについて、ある程度の目処がほしい。・適正配置審議会の委員構成やその中で検討していた議論の内容などをオープンにしていきたい。
豊小学校区 参加者数 50 人（平成 27 年 12 月 8 日(火)午後7時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none">・まず発生している複式学級に対処すべきで、全体の統廃合に取り組むのは勇み足ではないかと思う。・統廃合によって豊小の校風が失われるのではないか。地区住民の中でも豊小に愛着を持つ人も多い。そういった部分も考慮して検討いただきたい。・学校というのは大事なこと。学校を作るなら地域を見るのが一番。地域に何度も足を運んでいただき、地域住民の意見を踏まえて作ってもらいたい。・スクールバスを使う、道路の整備など様々な配慮事項があるが、結局は税金という形で徴収されることになるのではないか。今のままであれば使わなくてよい金を使うことになる。

福岡小学校区 参加者数 76 人 (平成 27 年 12 月 13 日(日)午後3時～ 場所:谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合を考える前に、人口減対策を講じておくべきではなかったか。 ・福岡小は高台にあり水害の面での安全性は高い。その面を考慮されずに統廃合の案を検討されているように思える。できれば、福岡小に谷原小・十和小を統合させるべきだと思う。 ・みらい平の児童を既存小学校へ割振ることも考えてほしい。逆に、福岡地区の子どもが(仮称)富士見ヶ丘小に通学することも考えてほしい。 ・学校に誇りをもってきた。地域に小学校だけは残してほしいと願っている。
十和小学校区 参加者数 42 人 (平成 27 年 12 月 13 日(日)午後6時～ 場所:谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・コストの面など全体メリットを考えれば、新規の小学校を造るより既存の小学校を活用するほうが良い。 ・スクールバス検討にあたっては、できれば 3km 未満でもバスが通るなら乗せていただきたい。
谷原小学校区 参加者数 28 人 (平成 27 年 12 月 14 日(月)午後7時～ 場所:谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合の目標年度は平成 35 年とあるが時間がかかりすぎではないか。 ・「地域文化の継承」と謳っているが、統廃合するということは、廃校になる学校の地域文化もあると思う。
小絹小学校区 参加者数 11 人 (平成 27 年 12 月 15 日(火)午後7時～ 場所:谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・新設校2校と既存地区の学校との施設的な平等性も考えてほしい。 ・みらい平地区にばかり税金を投入しているように見える。不公平感を感じる。
陽光台小学校区 参加者数 58 人 (平成 27 年 12 月 17 日(木)午後7時～ 場所:谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・陽光台小と小張小が統合した場合、過大な学校の状況が常態化し、良くない教育環境が続くと思う。 ・例えば、小張小が廃校となった後、中学校として利用することなども考えてほしい。 ・現在の中学校の選択制が無くなるのであれば、早く学区を決めていただきたい。 ・+αの要素(特徴ある教育など)が既存の小学校にないと、みらい平地区から既存の学校に率先して通学意向を示すことは難しい。
三島小学校区 参加者数 59 人 (平成 27 年 12 月 20 日(日)午前 10 時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級を早急に解消し1クラス1学級のレベルにしていきたい。 ・統廃合の推進にあたっては、反対意見を十分に尊重することに留意してほしい。
東小学校区 参加者数 45 人 (平成 27 年 12 月 20 日(日)午後 2 時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が少ない状況は理解するが、それでも学校を残してほしいというのが正直なところである。 ・自分の子どもの頃を考えると、ある程度の人数がいてこそ学校だと思う。統合には賛成の意見である。 ・小学校がなくなってしまうたら、この地区はもっと人数が減り、過疎化が益々進むことになるのではないかと。 ・耐震化工事をするなど税金を使って綺麗にしたのであれば、これから先も学校として使っていけるようにしていきたい。

(参考) 『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会(小張小学校区)概要

日時：平成27年12月4日(金)午後7時～
出席：62名(子どもを除く)



□主な質問・意見の概要

主な質問・意見		回答
1. 基本計画全般について		
1	<p>陽光台小と小張小を統合して、陽光台小を残すということはどういうことか。小張小は100年近くの歴史があり、子どもにとって良い環境だと思うが、市の考えを伺いたい。</p>	<p>みらい平地区は、区画整理により、小学校用地、中学校用地を確保している。急激に人口が増え、児童生徒も増えている。まず、陽光台小を建設し、それでも児童があふれることから、(仮称)富士見ヶ丘小を建設することで進めている。</p> <p>小張小は、1学年20人を下回る環境で学校活動することに非常に問題があることから、陽光台小と統合したほうが良いと考えている。</p>
2	<p>過大な学校は、教育上いろいろ弊害が出る。何が良いことあるのか。それであれば、周辺の既存の小学校へ通学できるようにすることはできないか。</p>	<p>周辺の既存の小学校へ通学できるようにするためには、みらい平地区の小学校に通う予定の方々からの意見も踏まえ、両方の観点から考えていく必要がある。</p>
3	<p>既存小がなくなることに反対を示すにはどのようにすれば認めてくれるのか。それを表さなければ、「意見は出ませんでした」で終わってしまうのでは。署名とか集めればいいのか。</p>	<p>平成21年から考えてきて、いろんな意見を聞きながらたどり着いてきた。審議会の答申が出たということでこの計画をつくり、その説明会ということで開かせていただいている。必要であれば話し合いを開きたいと思う。それは、なんとしても計画を同意していただくための話し合いではなく、子どもたちがどういった学習をしていくのが良いのか、子どもたちのための学校を考えていくための話し合いを行っていきたい。</p>
4	<p>(みらい平地区から)ただ小張小に行きたいだけでは駄目なのか。</p>	<p>基本的には学区制となっている。ただ、特別条件を満たした場合は認めることとなっている。単に行きたいというだけでは認めていない。</p> <p>距離的に近く、かつ、安全に通学できる場合、または、共働きの両親で家におらず、誰もいない家に子どもが帰るのは危ないということで、どちらかの務めている会社の近くの小学校に通いたいなど、そういった理由が合致している場合、認めている。</p>

5	<p>陽光台から既存小に通いたい子がいれば認めるという意見もあり、既存小でも児童数を確保することは可能ではないか。行きたいといっている子を行かせず、既存小を潰すとは聞こえない。言っていることが矛盾しているのではないか。</p>	<p>今の段階では、学区を決めないと、通学路の安全確保、学校規模などの問題もあり、基本的には学区を決めた上で、特別な理由がある方は（他学区に）通うことを許可している。</p>
6	<p>平成 35 年までと書いてあるが、直近、いつまでに賛成・反対の意見を取りまとめるのか。賛成や反対に向いた、というのは誰が、どのように判断するのか。</p>	<p>賛成、反対の意見と取りまとめるわけではない。みなさんで判断していただくしかない。このような説明会を何回も開催し、話し合いながら進めていきたい。</p>
7	<p>今回の説明会が済んだ時点で、統合が決定することになるのか。</p>	<p>市から強制的に統合を進めるつもりはない。子どもたちの環境を良く考えながら、市民の皆さんと話し合いを重ねながら進めていきたい。</p>
8	<p>特例として、みらい平地区から小張地区へ通うことを認めても良いと思うが。通学路の安全確保は保護者との話し合いでなんとかできるのではないか。現に6年生でそのまま小張小に通っている児童もいるので、今現在やっていることで可能だと思うが。</p>	<p>小張小に残っている陽光台の方については、もともと陽光台小学校ができないときに小張小にお世話になっていた。友達関係を築いてきた理由で陽光台小に行かず、小張小に残るということは、ちゃんとした理由なので残っているということ。学区を決め、学校規模を決めるに際して、どこの学校にも通えるようにフリーにすると、学校のキャパシティがあり、申し込み順などになり、毎年どれくらいの児童が通うのか想定がつかなくなるので学区制で考えている。</p>
<p>2. 合意形成について</p>		
1	<p>基本計画について、合意があれば進めるとあるが、何を持って合意と認めるのか。</p>	<p>アンケートなどで何%以上などという数値的なもので合意の状況を把握することはない。計画案の説明を丁寧に行い、統廃合に向けた話し合いの中で、それぞれの課題部分が解消でき、(統合の) 機運が高まり状況を確認した上で、進めていく予定である。</p>
2	<p>合意が得られたという判断は住民ではなく、市が判断するということか。</p>	<p>説明会を実施し、今後、(保護者や地域の方が) 統合をやむを得ないとなるところで判断することとなる。話し合いをして、反対や賛成の意見もあると思うが、それを解決していかないと前に進めないで、話し合いをしながら進めていくことをご理解いただきたい。</p>
<p>3. 陽光台小と小張小の統合に対しみらい平地区の学区の変更で対応することについて</p>		
1	<p>みらい平地区が陽光台小の学区域となっているが、その区域は変えることができないのか。</p>	<p>みらい平の区域を変更して小張小へ受け入れることは、小張小の校舎規模からして受け入れ人数に限界があり、基本的に難しいと思われる。</p>